

平成 29 年度住之江区教育関係施策（案）

	事業名	事業概要	28 年度 当初	29 年度 予定
区まちづくり 推進費	こども学習サポート事業	長期休暇や放課後の全小・中学校に学習指導員を派遣し、学習習慣を定着させることで学力の向上を図る。 (H28)派遣時間 1 校当たり 104 時間	6,932	→
	小・中学生の学習意欲向上事業	全小学校及び中学校 4 校を対象に漢検合格を目指す。 (H28)全小学校の 1 学年+7 小学校のもう 1 学年、4 中学の 1 学年	3,471	→
	中学生の英語力向上支援	全中学校の 1 年生もしくは 2 年生を対象に英検合格を目指す。 (H28) 全中学校の 1 年生もしくは 2 年生+南港北中のもう 1 学年	1,406	→
	発達障がいサポート事業	全小・中学校を対象に、発達障がい等によりサポートの必要な児童生徒に対し、教員の指示のもと、登下校や放課後等の課外活動の補助、校外学習等の付き添い等を行う。	5,171	→
区CM 自由経費	家庭児童相談運営費	専門知識を有する相談員を非常勤嘱託職員として区役所へ配置し、相談指導や要保護児童の調査等を行う。(区独自で 1 名増員)	8,813	→
	スクールカウンセラー事業	全小・中学校へカウンセラーを配置・定期訪問し、児童生徒の心のケアや保護者の悩み相談、教職員へのアドバイスを行う。	12,740	→

④平成 29 年度住之江区教育関係施策（案）

	事業名	事業概要	28 年度 当初	29 年度 予定
校長経営戦略 支援予算 （区担当教育 次長執行枠）	小中一貫校設立に向けた 特色ある教育環境づくり事業	30 年度に小中一貫校（南港緑小・南港渚小・南港南中）の開校を 予定している南港南中学校に特色ある教育の一環として、e-ラー ニング教材を取り入れ学力の向上を図る。29 年度は新たに、3 校 に小中一貫して行えるプログラミング教材を導入する。	1,944	2,041
	住之江区基礎学力 アップ事業	放課後の中学校校舎で、民間の塾事業者等との連携により、課外 授業を行なう。 (H28)場所は加賀屋中学校、対象は区内全中学生。	1,716	58 (※ 1)
	小学生の国語力向上事業	7つの小学校へ国語辞典を導入し、自主学習の時間等に児童自身 が言葉を調べ、豊かな語彙力をつけるとともに、疑問に思ったこ とを調べる習慣をつけることで、総合的な国語力の向上を図る。	1,140	— (※ 2)
	【新】スクールソーシャル ワーカー派遣事業(仮称)	福祉関係のコーディネートを行うスクールソーシャルワーカー を小・中学校へ派遣し、関係機関との連携強化を図る。	—	1,899
	【新】キャリア教育推進事業 (仮称)	JOCA（青年海外協力協会）と連携し、日本とは異なる文化に触 れ、考え、理解する機会を提供する。	—	799
	校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）合計			4,800

（単位：千円）

(※ 1) 事業は継続する。初年度は施設整備費と選定委員への講師謝礼金を計上。29 年度からは選定委員への謝礼金のみ計上。

(※ 2) 初年度は辞書引き学習のきっかけづくりとして本予算で導入。